

平成25年度

こと はじめ

予算事業始

さがみはらの予算をわかりやすく解説します

contents

- P2 予算の基礎知識
 - ・予算って何？
 - ・予算ってどうやって決めるの？
 - ・補正予算って何？
- P4 歳入(1年間の市の収入)
- P6 歳出(1年間の市の支出)
- P8 平成25年度の主な取り組み
- P10 相模原市財政状況
- P12 健全財政に向けた主な取り組み
- P13 宝くじ情報と寄附金制度のご案内
- P14 相模原家の家計簿



潤水都市 さがみはら

相模原市

予算の 基礎知識



それではまずはじめに、
基本的な疑問にお答えしましょう。
予算とはどういうものなのでしょうか？

予算って何？

まずはじめに「予算」についてです。

市役所では福祉、教育、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な仕事していますが、どんな仕事にお金を使うのかあらかじめ決めておく必要があります。そこで、1年間に市役所に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内でその使いみち(支出)を計画したものが予算になります。



予算ってどうやって決めるの？

皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そして、そのためにどのくらいのお金が必要なのかなどを検討し、予算の案を作成します。

できあがった予算案は、皆さんが選挙で選んだ市議会議員で構成される市議会に提出され、内容の審査を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

たとえば家庭では・・・



補正予算って何？

4月1日から翌年3月31日までの1年間に必要とされる予算は、「当初予算」として、年度が始まる直前の3月議会で決まります。しかし、年度の途中で、状況の変化や新しい事態が発生した場合には、変化に対応するため「当初予算」に変更を加える必要があります。これが「補正予算」です。

「補正予算」は必要に応じて何度でも編成することができますが、「当初予算」と同じように、市議会に提出され、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

15ヶ月予算

平成24年12月に誕生した新政権は、長引く不況を克服すべく緊急経済対策を打ち出し、切れ目のない経済対策を早期に実施するため、平成24年度の大規模補正予算と平成25年度予算を一体的に編成しました。これがいわゆる「15ヶ月予算」とよばれるものです。

相模原市も、国の15ヶ月予算に対応し、経済・雇用対策事業を実施するため、平成25年度事業を平成24年度3月補正予算へ大幅に前倒すなど、平成24年度補正予算と平成25年度予算を一体的に編成しました。

相模原市の予算はどのくらい？

平成25年度
一般会計予算額
2,445億円

一体編成した平成24年度3月
補正予算との合計額
2,559億円

平成25年度
特別会計予算額
1,657億円

平成25年度
公営企業会計予算額
266億円

※特別会計予算額は9の特別会計の合計額
※予算額は億円未満を四捨五入

平成25年度一般会計予算額と人口の主な政令指定都市との比較

大阪市(約268万人)	1兆6,700億円
横浜市(約369万人)	1兆5,369億円
名古屋市(約226万人)	1兆 259億円
⋮	⋮
岡山市(約71万人)	2,701億円
静岡市(約71万人)	2,664億円
相模原市(約72万人)	2,445億円

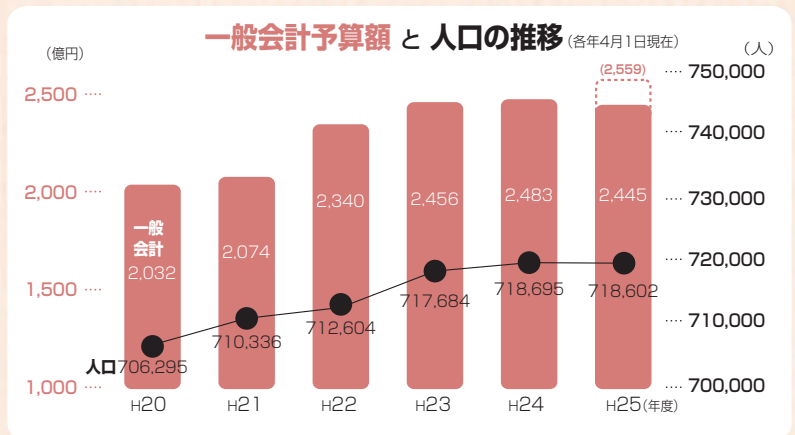
政令指定都市の中では、最も少ない予算規模です。

※人口は万人未満、予算額は億円未満を四捨五入。

※人口は平成25年4月1日現在推計人口。

右のグラフは、過去5年間の一般会計予算額と人口の推移です。

平成25年度予算は、平成24年度3月補正予算と一体的に編成しており、一部事業(約114億円)を前倒した結果、1.5%の減となっています。一体編成した合計の予算額では、3.1%の増となります。



『会計』のしくみ

市では、福祉・教育・道路整備などさまざまな事業を行っており、これらは、「一般会計」としてお金の管理をしています。特定の収入(国民健康保険税、介護保険料、下水道使用料など)があるものについては、お金の出し入れを分かりやすくするため、お財布を分けて管理しています。

これらのお財布を「特別会計」または「公営企業会計」とよび、相模原市には、右に示すように9つの特別会計と1つの公営企業会計があります。

一般会計

福祉

教育

道路整備

他

特別会計

- 国民健康保険事業
- 介護保険事業
- 母子寡婦福祉資金貸付事業
- 後期高齢者医療事業
- 自動車駐車場事業
- 簡易水道事業
- 公共用地先行取得事業
- 財産区
- 公債管理

公営企業会計

- 下水道事業

歳入

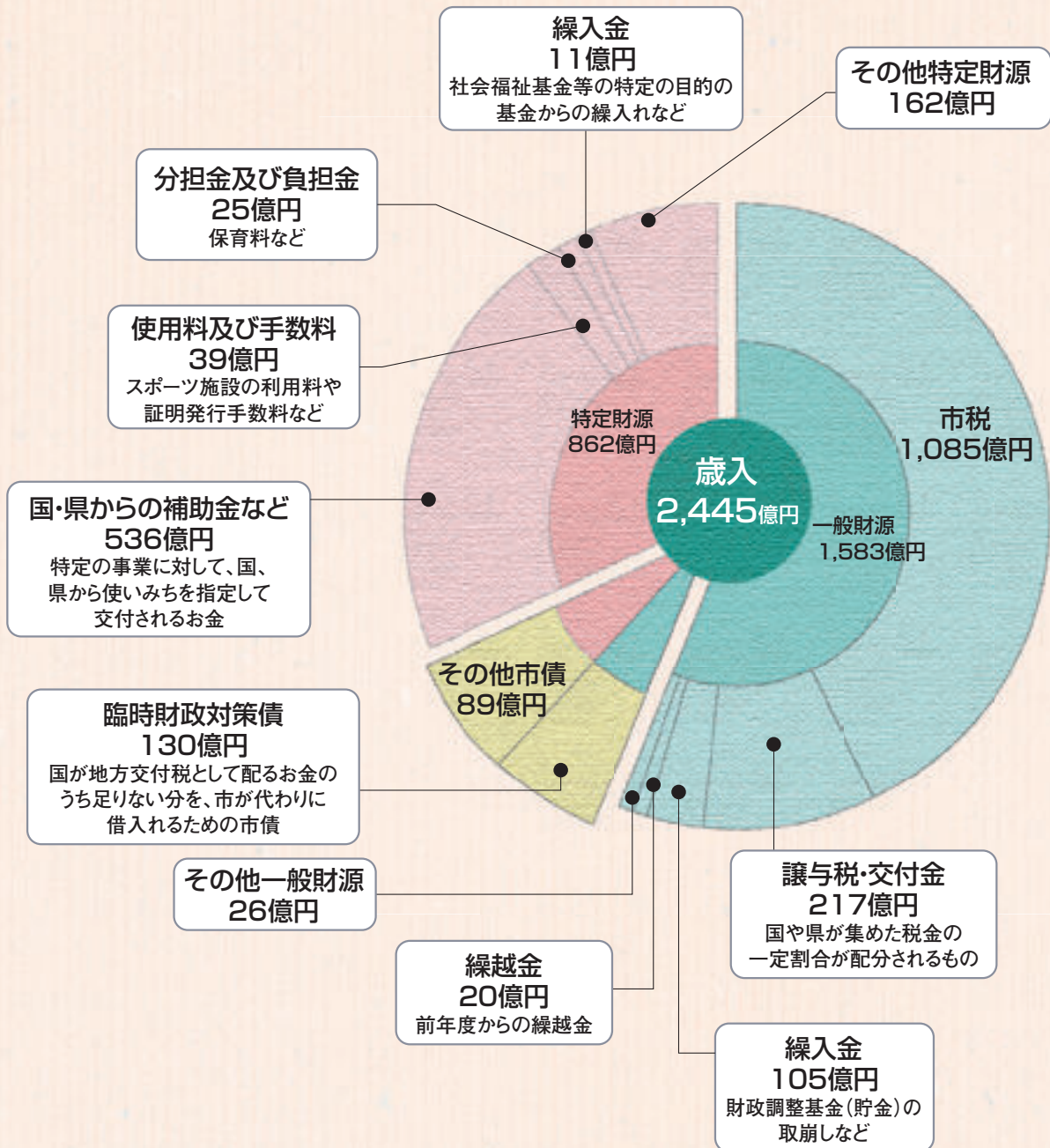
1年間の市の収入



まずは、市の収入である歳入について説明します。

市の収入にはどんなものがあるの？

相模原市の収入（歳入）のうち、もっとも大きな割合を占めているのが『市税』です。このほか、国や県から配られるお金や借入金（市債）など、さまざまなものがあります。収入は、使いみちが自由な「一般財源」と、使いみちが決められている「特定財源」に分けられます。市がさまざまな市民ニーズに対応して事業を行っていくためには、一般財源の確保がとても重要になります。



市税の内訳

市税は収入全体の約44%となっています。
主な内訳は次のとおりです。

市民税…県民税と合わせて住民税といわれる税

個人市民税…個人の前年の所得にかかる税

法人市民税…市内に事業所等がある法人にかかる税

固定資産税…土地・家屋・償却資産（事業用の機械等）にかかる税

都市計画税…市街化区域内の土地・家屋にかかる税

市たばこ税…たばこ製造者等が市内の小売販売業者に売り渡したたばこにかかる税

事業所税…事業所等における事業活動にかかる税

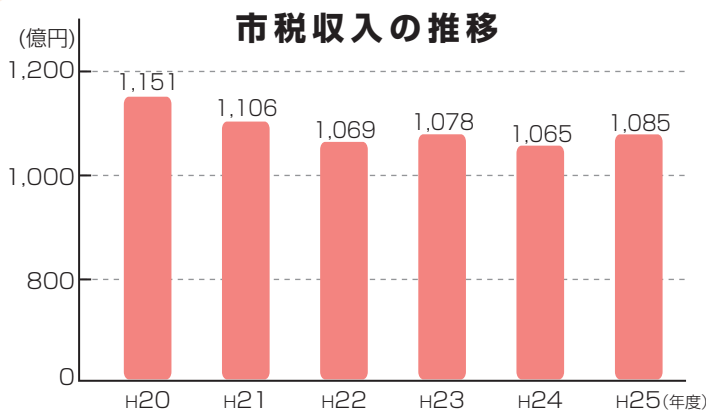
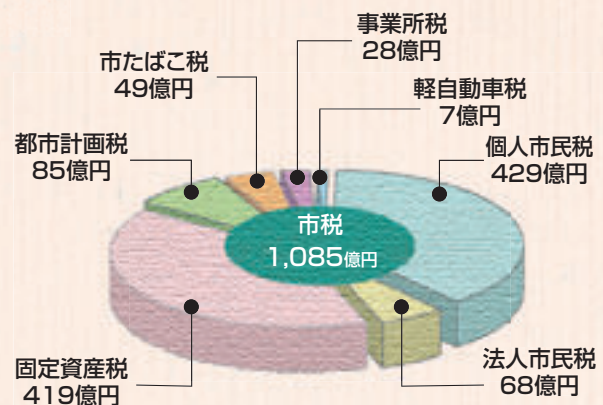
軽自動車税…原付・オートバイ・軽自動車などにかかる税

国民健康保険税…国民健康保険の加入者がいる世帯主にかかる税

入湯税…温泉などの入湯客にかかる税（相模原市では課税実績なし。）

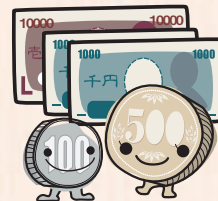
市税は、相模原市の収入（歳入）の約44%を占めており、その内訳は、「市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。他の政令指定都市と比べると、歳入のうち市税の占める割合が高く、市税の中では景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから、比較的変動の少ない歳入構造となっています。

なお、国民健康保険税は特別会計で収入しており、平成25年度予算額は210億円です。



※平成20～23年度は決算額、24・25年度は当初予算額で示しています。
※市民一人あたりは、各年4月1日現在の推計人口から算出しています。

市民一人あたりでは
約15万円です
平成24年度 約14万8千円
平成25年度 約15万1千円



相模原市の歳入でもっとも大きな割合を占める市税は、引き続き厳しい雇用、所得環境による個人所得の減少はあるものの、企業収益の改善による法人市民税の増収などにより、前年度と比べ20億円の増収となる見込みです。

歳出

1年間の市の支出

歳出は、使いみちや目的によってさまざまな見方をすることができますが、ここでは『目的別経費』と『性質別経費』という2つの分類方法で説明します。

目的別経費とは…

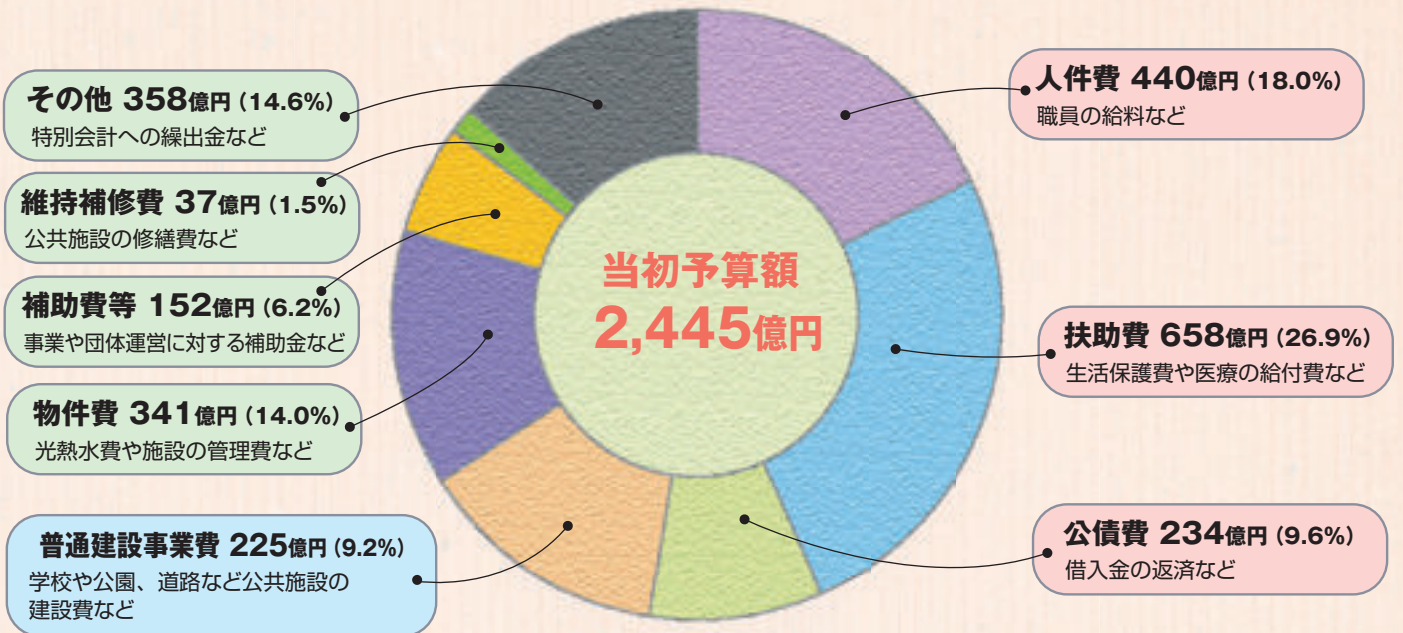
歳出をサービスの目的で分類したもので、「民生費」、「衛生費」、「教育費」などに分けられます。市民一人あたりの予算額は約34万円で、このうち「民生費」が約14万円となっており、全体の約41%を占めています。

目的別経費	当初予算額 (百万円)	一人あたりの 予算額(円)※	構成比 (%)
議会費 (議会運営などに要する経費)	1,063	1,479	0.4
総務費 (市役所の管理運営、広報、防災活動などに要する経費)	24,197	33,672	9.9
民生費 (子育て支援や高齢者・障害者福祉、医療などに要する経費)	101,274	140,932	41.4
衛生費 (健康づくりの推進、ごみ処理、環境保全などに要する経費)	21,692	30,187	8.9
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	1,052	1,463	0.4
農林水産業費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	931	1,296	0.4
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	15,342	21,350	6.3
土木費 (道路、下水、公園、河川などに要する経費)	28,253	39,316	11.6
消防費 (消防や救急活動などに要する経費)	7,880	10,966	3.2
教育費 (学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに要する経費)	18,496	25,739	7.6
公債費 (借金の返済などに要する経費)	23,474	32,667	9.6
その他	846	1,177	0.3
合 計	244,500	340,244	100.0

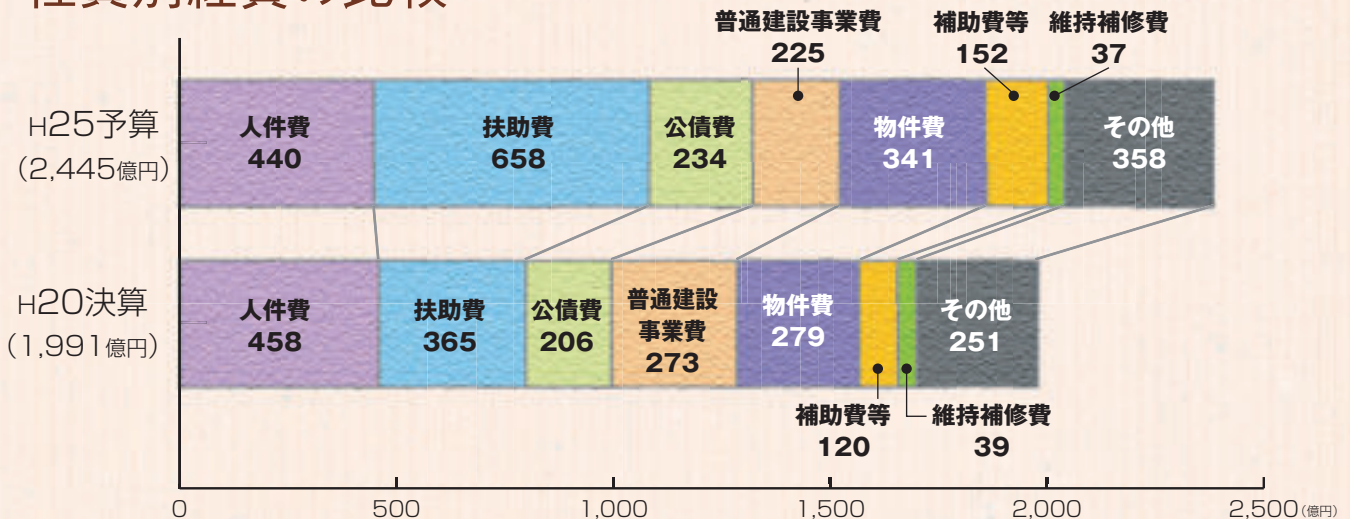
※一人あたりの予算額(円)は、平成25年4月1日現在の推計人口から算出しています。

性質別経費とは…

歳出を経費の性質に着目して分類したもので、「人件費（人にかかる経費）」「普通建設事業費（建物など将来への投資となる経費）」などに分けられます。



性質別経費の比較



性質別経費について、5年前と比べると、歳出全体も約450億円大きくなっており、各性質とも増加傾向ですが、そのうち扶助費が約290億円も増加していることがわかります。一方、人件費については、約20億円減少しています。

平成25年度の 主な取り組み

それでは、平成25年度の一般会計予算の中身について説明します。

()は、平成24年度3月補正予算により編成し、平成25年度に事業を実施するものです。

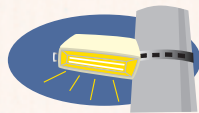
☆安全で安心して暮らせるまちづくり 約88億円 (約99億円)

●防災対策

69億3,571万円

(98億7,666万円)

- 地域防災計画の改定
- さがみはら防災・減災プログラムの推進
- 防災対策の推進
- インフラの安全対策



●暮らしにおける安全・安心の確保

18億5,670万円

- 通学路の安全対策
- 生活環境の向上
- 障害者福祉の充実
- 消防・救急体制の充実
- 高齢者の福祉の向上
- 医療体制の拡充



●基地対策

1,060万円

- 早期利用・返還に向けた取り組み、騒音などの課題解消に向けた要望活動

☆夢と希望あふれる次世代をはぐくむ環境づくり 約21億円 (約17億円)

●「生きる力」をはぐくむ

学校教育の推進

9億8,168万円

(16億9,815万円)

- 児童・生徒の問題行動に対する学校支援体制の強化
- 特別支援教育推進事業
- 学校給食センターの整備
- 教職員の人材養成・確保
- (○学校教育環境の整備)

●子育てを支える環境づくり

11億5,471万円

- 保育所の待機児童解消に向けた取り組み



☆にぎわいと活力に満ちた都市づくり 約216億円 (約69億円)

●都市機能の向上、交通ネットワークの充実

47億7,634万円

(69億円)

- 広域交流拠点検討事業
- 交通ネットワークの形成
- 広域幹線道路の整備
- 都市計画道路の整備
- バス乗り継ぎ施設整備事業
- (○広域的な道路ネットワークの整備)



●にぎわいのある市街地づくり

8億2,902万円

- 相模原駅周辺地区のまちづくり
- 小田急相模原駅北口B地区市街地再開発事業の促進



☆自然の尊さ・恵みを感じ将来の地球環境を守る社会づくり 約32億円

●地球温暖化対策

1億5,291万円

- 地球温暖化対策実行計画の推進



●自然環境の保全

12億185万円

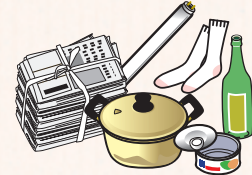
- (仮称) 環境影響評価条例の制定
- さがみはら森林ビジョンの推進
- 相模川ふれあい科学館の再整備



●ごみの減量化・資源化の取り組み

18億2,647万円

- ごみの減量化・資源化の取り組み

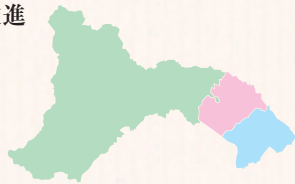


☆市民本位・市民参加の郷土づくり 約11億円

●市民協働と市民自治に根ざしたまちづくり

2億9,361万円

- 区制を生かしたまちづくりの推進
- 市民協働の推進



●心豊かに生活できる地域づくり

7億9,734万円

- 文化振興
- スポーツ振興



●誇りとすることができる郷土づくり

5,893万円

- 小原宿本陣の保存整備に向けた取り組み
- シティセールス推進事業



●産業を中心とした新たな拠点づくり

12億6,730万円

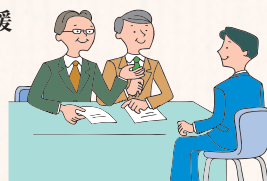
- 新たな拠点づくりの促進



●地域経済の活性化

145億8,473万円

- 雇用対策
- 企業支援



●にぎわいと活力を創出する商業・観光の振興

1億6,998万円

- 商店街等のにぎわいづくりの支援
- 観光協会助成事業
- 農産物直売所開設促進事業

相模原市財政状況

相模原市の財政の現状や課題について説明します。

Q.市の財政状況は?

健全化判断比率

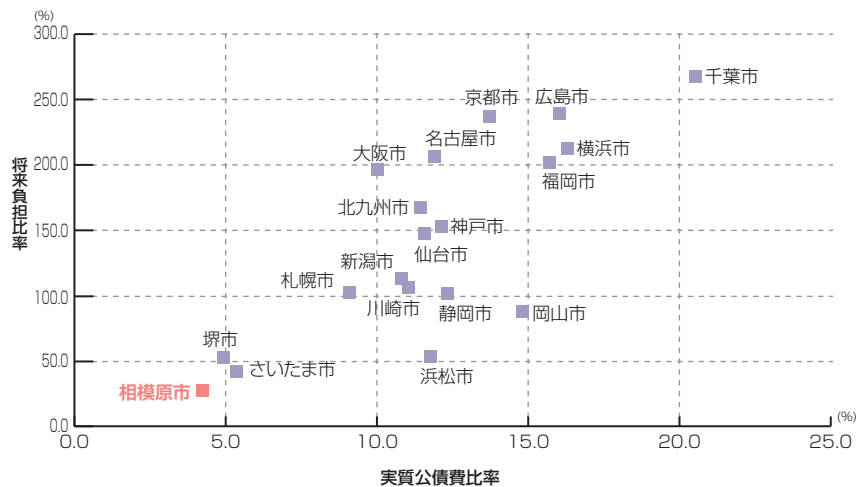
将来負担比率は、借金や買取りを約束している土地代など既に将来支払うことが決まっている金額などを含めた事実上の総負債額が1年間の収入総額に対しどのくらいの割合かを示したもので、数字が小さいほど、将来の負担が少ないということです。国の基準で一定以上（将来負担比率が400%以上）になった場合は借金削減の計画をたてなければなりません。

実質公債費比率は、収入に対する公債費（借金の返済費用）の占める割合で、数字が小さいほど、借金が少ないということで、一定基準（25%以上）を上回ると市債の発行が制限されます。

相模原市は、いずれの比率も政令指定都市の中で最も数値が低く、健全財政を維持しているといえます。



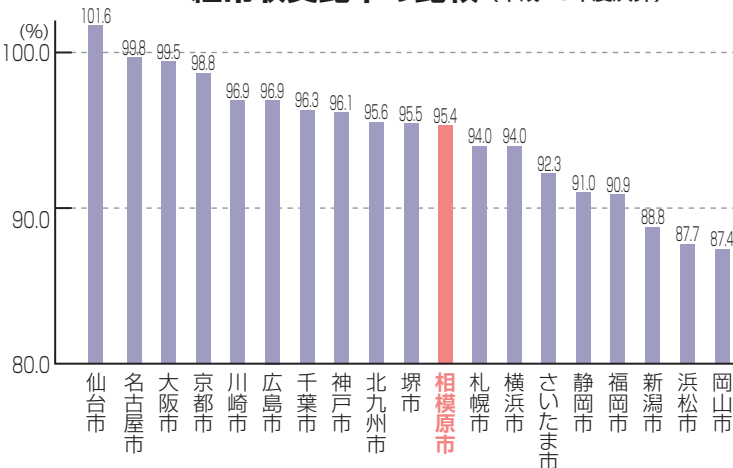
将来負担比率と実質公債費比率との比較（平成23年度決算）



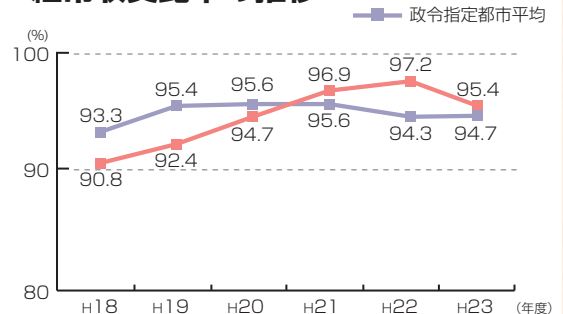
経常収支比率

経常収支比率は、市税など常に見込める収入と、公債費など常に支払う必要がある支出を比べたもので、この割合が低ければ、それだけ新しい仕事にお金を振り向けることができます。

経常収支比率の比較（平成23年度決算）



経常収支比率の推移



相模原市においては、平成23年度は前年度より数値が改善したものの、近年の傾向としては「財政の硬直化」が進んでいるといえます。硬直化が進むと新しい仕事を我慢する必要がでてきたり、急にお金が必要となった場合に対応しづらくなったりします。

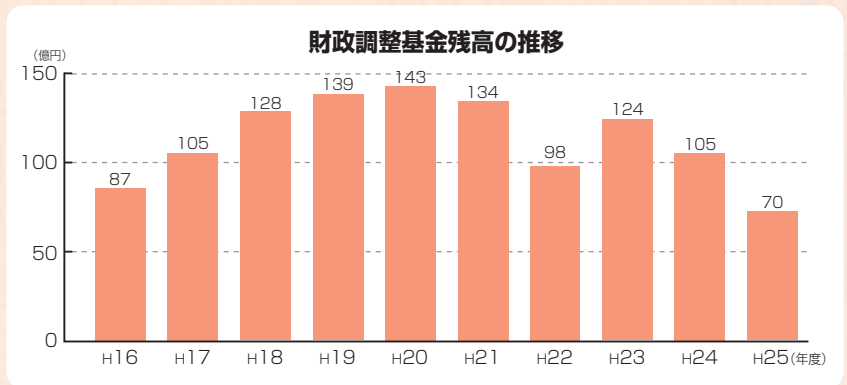
Q.市の貯金や借金はどうなっているの？

財政調整基金 (市の貯金)

急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりしたときに対応できるよう、市でも貯金をしています。これを財政調整基金と呼んでいます。

相模原市では、前年度に支出を切りつめて余裕が出たお金の半分以上を積み立てることをルールとして、積み立てを行ってきましたが、平成21年度以降は、経済不況の影響により市税などの

収入が減少したことに対応し、残高が減少しています。



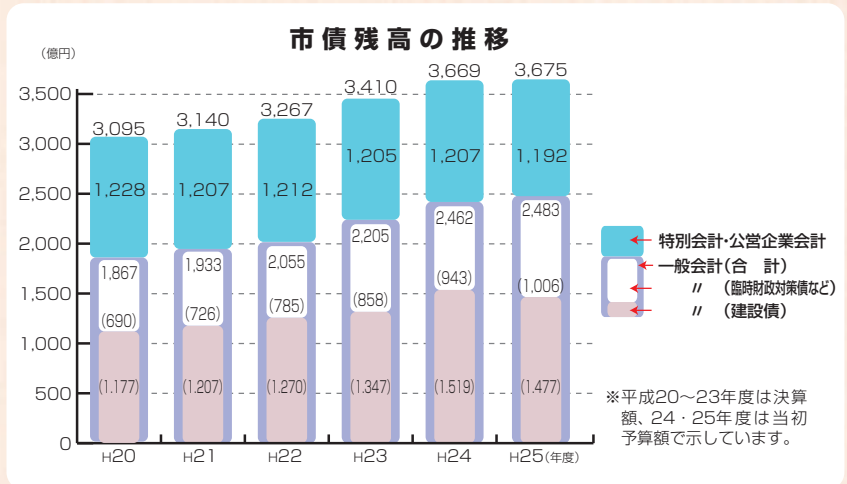
※平成16～23年度は決算額、24・25年度は決算見込額

市債 (市の借金)

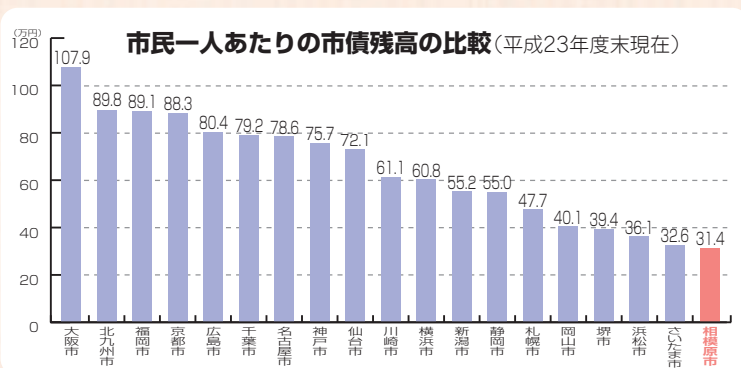
市債は借金ですから、無いほうが良いと考えるのがあたりまえです。でも、公園や道路などの整備に必要なお金を1年間の予算でまかなってしまったら、その年は他の仕事が出来なくなってしまいます。それに公園や道路はこれから長い間、たくさんの方が利用する施設ですから、将来の市民の方にも平等に費用を負担していただくことも、市債を発行する理由の1つです。

また、国の財源不足で本来地方交付税として配られるお金が不足した分を、市が代わりに借金をしてまかなっています。この借金を臨時財政対策債といい、近年市債残高が増加している大きな要因となっています。臨時財政対策債の返済金については、後年度の地方交付税額の算定に反映されることになっています。

ただし、借金が多くなればなるほど返済が大変になりますので、相模原市は計画的な市債の発行に努めています。



※平成20～23年度は決算額、24・25年度は当初予算額で示しています。



市債の残高を他の政令指定都市と比較すると相模原市が一番低くなっています。ただし、市債残高は、年々増加していますので、今後も適切な市債発行に努める必要があります。

※市民一人あたりの市債残高の比較については、他の団体との比較のため、普通会計における政令指定都市の調査の数値から作成しています。

健全財政に向けた 主な取り組み

相模原市では現在の健全な財政を将来にわたり維持するため、いろいろな取り組みを進めています。

相模原市は、現時点では財政的に健全といえる状態ですが、市債残高は横ばいから増加傾向、財政調整基金の残高も減少しているっており、将来への課題がないわけではありません。

そこで、将来にわたっても引き続き健全な財政を維持するために、市ではさまざまな取り組みを進めています。



行財政改革の断行

市民と行政が一体となって継続的・計画的に都市経営に取り組むため、平成17年度にさがみはら都市経営ビジョンを策定しましたが、着実に推進するための項目を数値化・指標化した目標値を設定したアクションプランを定め、行財政改革に取り組みました。

平成25年度からは新たな都市経営指針及び実行計画を策定し、継続的に行財政改革に取り組みます。

さがみはら都市経営ビジョン 平成17年度策定 → 具体的な行動計画としてアクションプランを策定

				主な行動計画	
第1期	平成17～21年度	85項目を設定	効果額 約76億円	■職員定数削減	■国保特会の健全化
第2期	平成22～24年度	72項目を設定	効果額 約12億円 (平成22～23年度分)	■事務事業の見直し	■低未利用資産の処分
				■市税等の収納率向上	■補助金の見直しなど
				■民間委託の推進	

市債発行の上限設定 (借入れできる上限額の自主規制)

市の借金には、実質公債費比率や将来負担比率などの国の基準でいろいろな規制がありますが返済額や残高に関するもので、借入額を直接規制するものではありません。そこで相模原市では借入額に関する自主的なルールを作って健全財政の維持に努めています。

年度	目標	実績	達成状況
平成17～21年度	借入総額 800億円以内	798億円	達成
平成22年度	借入限度額 320億円 実質公債費比率 8%以下	287億円 4.3%	達成
平成23～25年度	3年間の市債発行額 1,000億円以内 実質公債費比率 8%以下	326億円 4.2% (平成23年度)	

収入未済額の減少に向けた取り組み

市では、納期限を経過しても納付されない債権について、滞納者に納付を促すため様々な措置を講じていますが、収入未済額は年々増加している状況です。

これまでも債権管理の適正化に努めていましたが、市民の負担の公平性と自主財源の確保を図るため、「相模原市債権回収対策基本方針」及びこの方針に基づく「平成25年度債権回収対策等実行計画」を策定し、新たな収入未済の抑制・削減などに重点的に取り組んでいます。

「宝くじ」って実はすごい!!

宝くじ
情報

Q. 宝くじってどこで買っても同じ?

A. 宝くじが当たる確率は、どの売場で買っても同じだよ。でも、相模原市内で売れた宝くじの収益金は、相模原市に配分され、身近な市内の事業に役立てられているんだ。
だから、みんなが**市内で宝くじを買って**くれると、相模原市の収益金も増えるから、**みんないいことづくめなんだ!**



市内で買えば、
市民のために
役立てられるんだ!!

相模原市内で、
平成24年度の
ドリームジャンボの1等、
年末ジャンボの1等・
前後賞も出たんだよ!



宝くじは相模原市内で買ってくださいね。

寄附で、あなたも**市政**に参加してみませんか! 「暮らし潤いさがみはら寄附金」制度のご案内

- ポイント1** 寄附金は、あなたが**指定した事業に活用されます!**
市の事業のうち幅広いメニューから使い道を選択いただけます。
- ポイント2** しかも、2,000円を超える部分は**税金が差引かれます!** (上限額があります)
つまり、税金の使い道を指定すると同様の効果があります。
※税控除を受けるには確定申告が必要です。
- ポイント3** さらに、**皆さまにより身近な事業への指定が可能に!!**
図書館の本やスポーツ施設の器具など、普段から皆さまにご利用頂いている市の事業に対して、寄附の指定が可能になりました。なお、使い道を指定しない「一般コース」も設けております。

【平成24年度 暮らし潤いさがみはら寄附金の実績】 (平成24年7月1日~平成25年3月31日)

寄附件数	寄附金合計
84件	40,668,259円

多大なるご寄附ありがとうございます。皆さまからお預かりした寄附金は、原則ご寄附頂いた年度の翌年度の予算の中で活用させていただきます。

詳しくは市ホームページ、パンフレットをご覧ください。市財務課まで。

相模原家の 家計簿

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために、市の予算を家計に例えてみます。相模原家の年収500万円として、市の予算を当てはめてみると…主な財政指標を見てみましょう。

～相模原市の平成25年度予算を年収500万円の家計に例えと～



収入

支出

給与	基本給 (市税)	222万円 (+8万円)
	諸手当 (譲与税・交付金・国県支出金など)	140万円 (+7万円)
親からの仕送り	貯金の取り崩し (基金繰入金)	24万円 (+4万円)
	家賃収入 (使用料・手数料など)	55万円 (+1万円)
	親からの仕送り (地方交付税)	14万円 (±0万円)
	生活資金のローン (臨時財政対策債)	27万円 (+1万円)
	家の増改築のローン (その他市債)	18万円 (△21万円)
合計	500万円	(カッコ内は前年度との比較)

食費 (人件費)	90万円 (±0万円)	
医療費 (扶助費)	135万円 (+7万円)	
ローンの返済 (公債費)	48万円 (+3万円)	
その他の生活費 (補助費等・物件費など)	137万円 (+4万円)	
家の増改築費 (普通建設事業費)	46万円 (△21万円)	
子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	44万円 (+7万円)	
合計	500万円	(カッコ内は前年度との比較)

*このほか、ローンの残高は、508万円。
貯金は23万円になります。

給与や家賃収入が増加しましたが、依然として生活に十分な額には満たないため、親(国)からの仕送りや貯金の取崩しなどでしのいでいます。しかし、親(国)の家計も苦しいため仕送りは全額をもらえず、一部を仕送りに代わるものとして生活資金のローンを借りています。(返済資金は親が仕送りしてくれる約束になっています。)

こと はじめ ～『予算事始』の作成にあたって～

江戸時代の中期、「この本を翻訳することができれば、日本の学問を変えることができる」という高い理想と信念を持ち、オランダ語で書かれた解剖学の本の翻訳を、頼るべき辞書も無いまま手探りで取り組んだ初期の蘭学者(オランダ語で西洋の学問を学ぶ者)の苦労が書かれている『蘭学事始』という書物をご存知でしょうか?

「予算」は、市民の皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをまとめたもので、市民生活に密接に関わっています。また、「財政の健全化」とか「財政破たん」とかという言葉もしばしば耳にされると思いますが、自分の暮らすまちの財政が健全に運営されているかどうかは、まさに、市民生活に大きな影響を及ぼす重要事項です。

一方、専門用語や仕組みの複雑さなどから、市民の皆さんに予算や財政の中身を分かりやすく説明することはなかなか難しいことですが、相模原市の予算や財政状況を分かりやすく解説し、関心を持っていただくことによって、相模原が変わっていく、そんな思いをこめてこのパンフレットを『予算事始』と名づけました。

『予算事始』を読んでいただいて、一人でも多くの皆さんに「予算が身近になった」「相模原市の財政に興味をもった」と感じていただければ幸いです。



相模原市の予算や財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。



<http://www.sagamihara.kanagawa.jp/>

【トップページ】⇒【市政情報】⇒【市の財政】からアクセスしてください。

広告

広告内容に関するお問い合わせは各事業所へ(パンフレットの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください)。

相模原事務用品協同組合

相模原事務用品協同組合 代表理事
佐藤 幸彦

事務局 ▶

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3(商工会館内)
TEL 042(750)2838 FAX 042(750)2855

URL:<http://www.e-jimu.jp> e-mail:kumiai@e-jimu.jp

(有)オオヌマ 042-778-4290

菊屋浦上商事(株) 042-754-9211

(有)橋南堂 042-772-2408

久米文具店 042-754-6560

昭文堂 042-762-1532

(株)敏正堂 042-685-1511

福文堂 042-784-0136

(株)文盛堂 042-752-2303

(株)宝月堂文具店 042-752-2083

(株)ミリオン事務機器 042-784-3856

(有)山本書店 042-784-0016

(株)洋文堂 042-730-3421

(有)渡邊文相堂 042-761-5518

(株)プロワーク 042-730-5251



SOIN

相模原市印刷広告協同組合

プロ集団
25社

印刷・広告受注、地域情報紙印刷配布、
市民まつりパンフレット・暮らしのガイド(ナイスガイドさがみはら)作成
街美化アダプト制度の活動、PTA・公民館広報誌講習会(年1回開催)等

相模原市印刷広告協同組合代表理事 長田 功

〒252-0239 相模原市中央区中央3-7-5 ☎042(776)6100 ☎042(776)5656 <http://www.soin.or.jp/>

新築・お子様の勉強部屋・リフォームのご相談は

D+STYLE

有限会社

トータルハウジング久野

神奈川県相模原市中央区水郷田名2丁目11番26号
TEL 042(762)0096 FAX 042(760)0078
<http://www.t-h-kuno.co.jp>

お買い物は地元のお店で!!

一般社団法人

相模原市商店連合会

相模原市中央区中央3-12-3 ☎042-768-2451



相模原法人営業部 / 淵野辺支店 / 相模原支店
 南淵野辺支店 / 上溝支店 / 田名支店 / 千代田出張所
 相模台支店 / 相模大野支店 / 大沼支店 / 東林間支店
 古淵支店 / 橋本支店 / 二本松支店 / 城山支店



Bank of Yokohama

Afresh

あなたに、あたらしく。

お客さま一人ひとりに、
 最もふさわしい金融サービスとの出会いを、
 あたらしく創りあげていきます。

横浜銀行